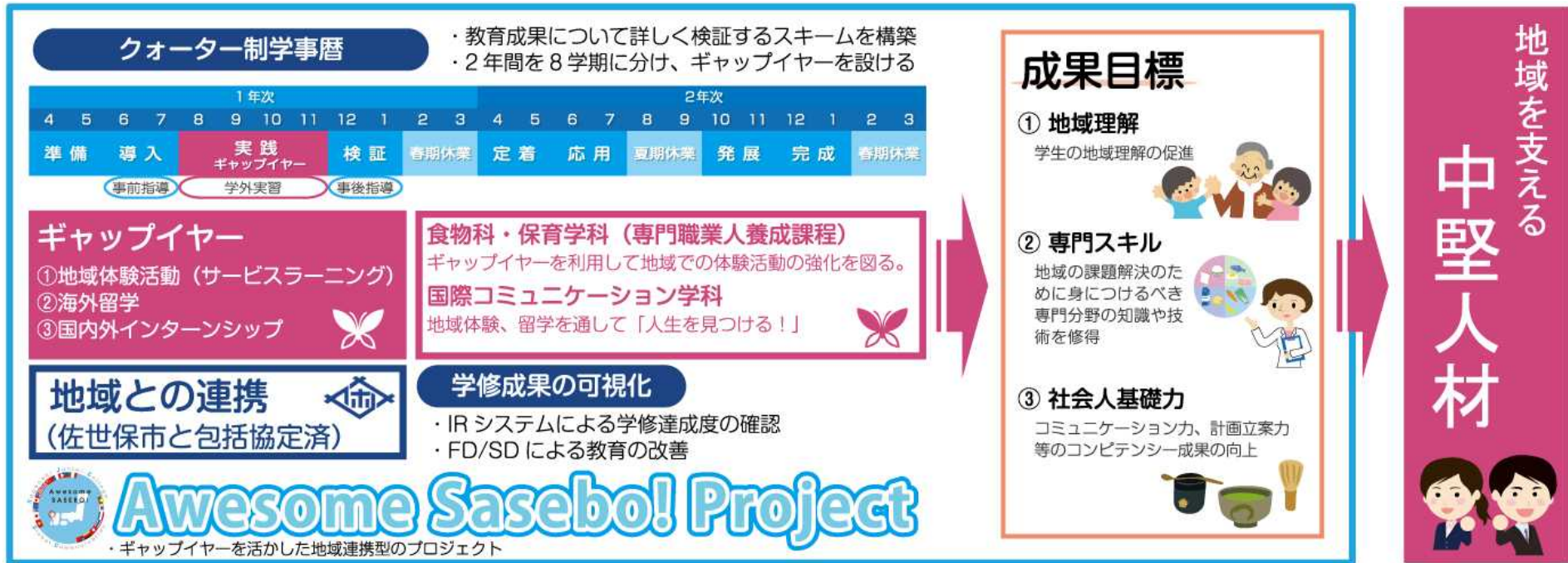


大学等名：長崎短期大学

テーマ：テーマⅣ（長期学外学修プログラム（ギャップイヤー））

【取組概要】クォーター制学事暦を採用し、2年間の学びを8ターム（準備・導入・実践・検証・定着・応用・発展・完成）にする。その中で学習効果を定着させるために、**実践ターム（1年次の8月～11月）をギャップイヤー**とし、「地域体験活動」、「海外留学」、「国内外インターンシップ」を体験する。そこで得られた知識や経験を佐世保市と連携した“Awesome Sasebo! Project”として展開し、地域に密着した課題解決型学外実習への取り組みとする。以後のタームでは学問的な定着を図る科目を配置し、学生自身が問題発見をし、学問的に解決していく力を身につけさせる。そのために学長のガバナンス機能を強化し全学体制でのカリキュラム改革を行う。



【事業の成果】	26年度 (実績値)	27年度 (目標値)	29年度 (目標値)	31年度 (目標値)
長期学外学修プログラムに参加する学生の割合	10%	20%	50%	90%
学生の授業外学修時間(1週間当たり)	4時間	8時間	16時間	24時間
学生が企画する活動数	10件	12件	15件	18件

【事業実施による大学改革の加速効果】

- ・クォーター制の導入により、全学的にカリキュラム改革が加速され、より良い中堅人材を地方に輩出することができる。

【事業実施による大学全体への影響】

- ・地域理解力があり、自ら行動でき、コミュニケーション能力の高い学生を全学的に育成できる。